

地球に優しくなれますか?

もちろん。

Power and productivity
for a better world™

ABB

太陽光をはじめとする再生可能エネルギーは、環境への負荷を軽減しつつ、電力需要の増加に対応する鍵として、その重要性を増しています。ABBは、急速に拡大する市場で、広範な製品群およびソリューション、そして世界100カ国以上に展開するネットワークでの経験、ノウハウに基づいた最先端かつ的確なご提案で、お客さまの国内外での事業を力強くサポートいたします。メガソーラーのターンキーソリューションにはじまり、発電所の制御および長距離送電と系統接続、太陽光専用発電設備保護装置、インゴットからセル、モジュールに至るロボットによる自動化のご提案まで、ABBがお手伝いします。

お客さまと環境へ恩恵をもたらすために。

www.abb.co.jp

ABB株式会社
東京都渋谷区桜丘町26-1 セルリアンタワー
Tel : 03-5784-6254 Fax : 03-5784-6281
e-mail: jpabb.communications@jp.abb.com

洋上発電 高まる期待



ドイツの洋上ウィンドファーム (ABB提供)

環境省からも追い風
復旧にある。しかし、固定価格買い取り制度 (フィードインタリフ、FET) への移行を考慮したウィンドファーム (複数の風車を建設した大規模に風力発電を行う施設) 新規分への助成制度中止などに伴い、国の目標である10年度累積300万キロワットの達成は、実現しなかった。
世界風力エネルギー会議 (GWEC) の報告によると、世界の風力発電導入実績は10年の累積が前年比22・5%増の1億9439万キロワットだった。05年以降は同25%前後の増加率で推移している。国別では1位の中国、2位の米国の導入実績が急増。05年時点で10位の日本よりも下位だったフランス、ポルトガル、カナダも増えている。日本は12位で、世界の1・2%を占め、中国の約16分の1となっている。
風力発電は外国によっても再生可能エネルギーの中でトップの地位を占め、将来見通しても、同エネルギーの主翼を担う存在と考えられている。
日本の特殊事情
日本では台風や冬季雷などの日本固有の気象条件や、山岳部などの複雑な地形が、風力発電の導入を妨けている一面がある。こうした条件に対応した風車の開発、導入が必要となっている。
また、平野部での適地が減少傾向にあり、山岳部ではアクセス道路整備などのコスト負担が増えていることから、今後の風力発電導入には長い海岸線の特徴を生かした洋上風力発電の導入が不可欠となっている。

東日本大震災を受けて、再生可能エネルギーに対する期待が高まっている。こうした中、風力発電は他の再生可能エネルギーと比べて発電コストが低く、事業採算性が高いといわれている。国内での累積導入量は国の目標に届いていないものの、増加傾向にある。今後の需要に対応するため、洋上風力発電の研究などが始まっている。環境省は風力発電施設の設置を環境影響評価法の対象として追加するための政令の改正手続きを行っている。

欠となっている。一般的に洋上では風況が良く、風の乱れが小さいため陸上より風力発電機の稼働率がアップし、騒音・景観への影響が小さい。大型風車の設置運搬が容易



6月17日に東京都内で開かれた第9回「風力発電施設に係る環境影響評価の基本的考え方に関する検討会」

など、高い事業性が見込まれている。すでにデンマーク、英国、スウェーデン、ドイツでは洋上風力発電の積極的な導入が進んでいる。
しかし、洋上風力発電は風車設置やメンテナンスにコストがかかる。気象・海象条件が異なることから欧州での事例をそのまま適用するにはリスクがある。日本では遠浅な海岸線が少なく、急

環境影響評価法 政令を今秋改正

環境相の諮問機関である中央環境審議会は、10年2月に騒音、バードストライクの被害が報告されていることなどから「風力発電施設の設置を法の対象事業として追加することを検討すべき」と答申した。
これを受けて環境省は10年10月から、風力発電施設に係る環境影響評価の基本的考え方に関する検討会「で検討を始め、11年6月に報告書を取りまとめた。環境影響評価法の対象とすべき風力発電事業の規模や、環境影響評価の項目、調査・予測・評価方法の基本的考え方などで構成。報告書では例えば風力発電事業における適切な規模要件は「総出力を指標とすることが適当である」としている。
同省はこの報告書を踏まえて、環境影響評価法の政令の改正の公布を今秋に行う。

峻な海底地形であることから着床式のみならず浮体式の風力発電の導入も検討課題となる。
今年1月現在、着床式が導入されているのは護岸または防波堤近くの3件だけ。
浮体式については環境省が長崎県で実証事業を行っている。
こうした中、新エネルギー・産業技術総合開発機構 (NEDO) は、09年度から国内初の沖合での洋上風力発電の実現に向けて洋上風況観測システム、10年度から洋上風力発電に關して実証研究を千葉県で行っている。
法対象に追加

毎日、TDKのエコと暮らしています。

スマートフォンと「ECO LOVE」製品

フラットテレビと「ECO LOVE」製品

エアコン/冷蔵庫と「ECO LOVE」製品

太陽光発電/風力発電システムと「ECO LOVE」製品

LEDと「ECO LOVE」製品



TDKの環境配慮型製品の中で、環境負荷低減効果が高いものを「ECO LOVE」、またさらに効果が高く業界トップレベルのものを「SUPER ECO LOVE」と名づけています。

クルマや家電、ケータイのエコを支えるTDKの「ECO LOVE」製品。素材のグリーン調達から省資源、省エネ、有害物質の使用禁止、リサイクルまでライフサイクル全般での環境性能を高めています。毎日の暮らしの中で、見えないけど大きな役割をはたすTDK。これからも、知恵と技術で、ひとつ上のエコへ。

小さなエコします。
大きなエコになります。TDK